

香住ロータリークラブ
(山村俊雄会長)は26日、
香美町香住区下浜の三田浜
海水浴場に町立香住小の5
年生75人を招き、地引き網
体験を実施した。香住小が
30日まで行う自然学校の初
日のプログラムとして、ロ
ータリークラブが受け持っ
ている。

水産業が中心産業の香住
でも近年、地元の子もた
ちの魚離れを心配する声が
多いことから、子どもが魚
について学び、地場産業の
漁業・水産加工業の重要性
を知ってもらうことを目的
に、2013年から香住区
内の小学校が行う自然学校
で担当している。

この日、児童たちは、漁
業など海の活動についての
説明を聞いた後、近くの磯
の岩場や波打ち際の小魚、
貝類、海藻類などを観察し
た。地引き網体験では、沖

香住小児童が地引き網

合計200斤(水深約10m)に
入れられた網を、左右に
分かれてヨイシヨ、ヨイシ
ヨと元気よく引っ張った。
網の中にはシマダイ、アオ
リイカなどが入っており、
取れたての魚をバーベキュ
ーで昼食に食べた。

東花奈さん(10)は「網を
引っ張る時はしんどかった
が、可愛い魚がたくさん取

自然学校に75人
「たくさん取れた」

れて楽しかった」、守山美
結さん(10)は「初めて見る
魚がいっぱいいて、勉強に
なりました」と、笑顔で話
していた。山村会長は「何
年、何十年たって、子ども
たちが地引き網体験はいい
勉強になったなあ、と思い
出してくれたらうれしい」と
話していた。

【竹花義憲】



地引き網体験で網に入った魚の名前を覚えてもらう香住小の児童ら—香美町香住区で